

ここにのこる音楽をみんなで・・・

京都音楽センター NEWS

●発行

(株)京都音楽センター

〒604-8481 京都市中京区

西ノ京冷泉町 118-3

Tel. 075-822-3437

Fax. 075-822-3439

国際文化交流

五月十八日、オランダ・アムステルダムにある「アンネフランク記念館」を梅原司平さんとともに訪ねました。

今回の訪問は、梅原さんがつくった曲「アンネの薔薇」に感銘を受け、「ぜひ、アンネの家で演奏を」と言う願いから出発し、「京都音楽センター」と『W3国際文化交流研究所』との共同の取り組みとして実現したものです。

『W3国際文化交流研究所』は、文化を通して国際交流を進めようと、単なる旅行ではなく、文化交流を主眼に置いた企画をたて意義深い取り組みを始めています。

もちろん平和の問題にも敏感で、平和だからこそ文化交流も成り立つのだと、地道な活動を続けていて、今回の企画も、その一つとして取り組まれました。

今回の旅行では、日本から、総勢三十四名が参加。アンネ

フランク記念館を訪問するとともに、改めて平和の大切さ、戦争の非人間性を実感してきました。

当初梅原さんが演奏するはずだったアンネフランク記念館のセミナールームは、心ない日本人観光客のために残念ながら実現しませんでした。(私たちが訪問する直前に、心ない観光客が、アンネフランクにふさわしくない行為を館内で行ったらしい。まったく同じ日本人として恥ずかしくなります…)

しかし、アムステルダムの由緒ある「パールス・ファン・ベルラーヘ」会館でコンサートが実現。現地の日本人コーラスのみなさん始め、平和を願う人たち約百二十名でのコンサートが実現しました。

梅原さんは、地元のコーラスの方と「折り鶴」を一緒に歌った後、「もつと人間もつと愛」一度だけの人生だから

「大地」「人として」「アンネの薔薇」「愛ある街で」と六曲を歌い、アンコールではアダモの「インシヤラー」を歌い、会場はスタンディングオベーションで応えました。

時田 裕二

音楽は言葉の壁を超え、平和の願いも言葉の壁を超え。そんな思いで参加者一人ひとりと握手を交わしました。

コンサートの後、簡単な打ち上げを兼ねたパーティーで、十五年以上も前に京都で知り合った友人に出会い、世界の狭さに驚きました。

今回の訪問では、アンネフランク記念館のみなさんにも、「平和を真剣に考えている日本人もいる」ということを理解してもらい、非常に友好的な関係も出来ました。

梅原さんの『アンネの薔薇』をアンネフランク記念館のオフィシャルソングにして欲しい」そんな、願いも投げかけてきました。

世界の各地で私たち同様、平和を願い、お互いを尊重できる真の国際交流を考える人が増えることが、どんなに大切でステキなことかと思えます。そして文化を通してそのことが広がっていくことも大きな喜びです。

今回の旅は、ブラハ音楽祭・ブラハの古城・ゴッホ美術館・オランダ国立美術館・梅原司平コンサートと芸術三昧の旅となりました。

次回は、何処に行こうかと考えながら、まずは帰国の報告コンサートを開こうと、アメリカ・ニューヨークのテロからちょうど一年目の九月十一日に、訪欧報告のコンサートを京都市呉竹文化センターで開こうと準備を始めました。

国際文化交流をねがう『W3国際文化交流研究所』らしいコンサート日程です。平和を願う気持ちを一層強くした私たちの願いを梅原さんがどのように舞台上で表現するか、非常に楽しみです。みなさんもお越し下さい。

おすすめコンサート情報

お申し込みは
京都音楽センターへ
TEL. 075-822-3437

梅原司平 アムステルダム帰国コンサート

日 時：2002年9月11日（水） 午後7時開演（開場は6時30分）
会 場：京都市呉竹文化センター（近鉄・京阪「丹波橋駅」下車 西口すぐ）
入場料：3,000円（当日3500円）
内 容：アンネフランクの隠れ家を訪ねた梅原司平の帰国報告コンサートを開きます。
国際文化交流を進める「Will」のNPO法人認可記念として取り組まれます。
折しも、衝撃的だったニューヨークのテロ事件からちょうど1年目。国際的文化交流を
平和に役立てたいと考える意味深いコンサート。この日、楽しい重大発表もあるかも…

松井誠 奮闘公演 2002 春ツアー

日 時：2002年6月24日（月） 昼の部／午後2時開演
夜の部／午後6時30分開演
2002年6月25日（火） 昼の部のみ／午前11時開演
会 場：京都府立文化芸術会館（京都市バス「府立医大病院前」すぐ）
入場料：S席6,000円（当日6500円）
内 容：[第1部] 人情喜劇「そば屋情話」 [第2部] 誠版レビュー

新しい太鼓の表現に挑戦 きのかどんどん（和太鼓と狂言のセッション）

日 時：2002年6月27日（木） 午後7時開演
会 場：京都府民ホールアルティ（京都市営地下鉄「丸太町駅」下車徒歩約10分）
入場料：一般3,500円／中学生以下2,500円（当日券はいずれも500円増）
出 演：中条きのこ（和太鼓奏者）／丸石やすし（狂言役者）／雨田一孝（チェリスト）
松尾慧（横笛奏者）／藤野佳代（和太鼓奏者）
内 容：和太鼓と狂言のセッションで新しい和太鼓の表現に挑戦。中条きのこの新たな一歩を見て下さい。

京都音楽センター ピアノサービス部門

■ピアノフォーラム 吉田光男（社団法人日本調律師協会会員）
・ピアノ調律・修理・販売・音楽教室 TEL075-811-8634 FAX075-822-3439
・E-mail/stimmer@mbox.kyoto-inet.or.jp

チェンバロは専門ではないがたまに頼まれる。チェンバロ弾きは自分で調律もするが、すぐに狂う楽器なのでコンサートとなると精神的に余裕がなく、楽器の運搬も兼ねて調律を頼まれる。

五月にオランダ人のリコーダーリサイタルが五会場であった。チェンバロ奏者は日本人。二年前にもリコーダー奏者は違うが同じスタイルのを担当した。

チェンバロの調律方法は数種類あって、奏者の指定があればその方法であわす。今回のチェンバロ奏者は二年前と同じ人なので前回と同じに合



せたが、四会場目で、私がいつもやっている方法に変えてほしい、と言われ手順を聞いて変えた。その日帰ってからその方法をよく検討したが、古典調律として残っている方法には見当たらない。しかしこの方法は合わせるポイントを押さえれば、休憩時間の短時間で再調律をするには楽だ。純正和音が多いから楽器の響きもいい。しかし欠点は、癖が強くて平均率で鍛えられた耳にとつては気持ちが悪い。ピアノでこんな調律は許されないだろうが、バロック時代にはこんな調律も使われていたに違いない。チェンバロだから成せる技と手順を記録し、その人の名前をつけた技法として残している。



私たちPAマンの仕事は本番はもちろんですが、器材の搬入・セット・リハール、そして後かたづけ（いわゆるバラシ）も大切な仕事です。というよりも、本番より、搬入・セットが仕事のほとんどだと言ってもいいくらいだと思います。

私たちがいつも持ち歩いているセットは、通常五〇〇名くらいのキャパシティのホール用ですが、それでもスピーカーだけで三二〇kgほどあります。

ロックコンサート用になると、それこそ一ト近い物になり、とても数人でできる仕事ではありません。

しかも、運ぶ器材はスピーカーだけでなく、アンブ（これがまたやたらと重い）などという代物もあり重労働です。だから、搬入が終わる大きな器材を所定の位置に置いた段階です

でに仕事が終わった気分になつてしまいます。

通常私たちは、ホールなどのコンサートでは、出演者より4時間〜5時間前には、会場に入り準備を始めます。

もちろん、音響の準備だけでなくこれだけの時間がかかるわけではありませんが、舞台のセットや照明の仕込みなど、同時に出来ない仕事がたくさんあるため、どうしても時間がかかつてしまいます。

そこで必要になるのが舞台監督です。それぞれのチームが段取りよく仕事が進み、出演者や主催者に迷惑がかからないように仕事の順番と時間を割り振ります。

いつもと同じスタッフで仕事をするときには、暗黙の了解みたいな所があり、特別な打ち合わせがなくても順調に進みますが、初めてのスタッフが顔を合わせて仕事をするときには、舞台監督がしっかりといていないと、もの事がおきたりもします。限られた時間内で出来るだけよい状態の本番をつ

くることは、各スタッフの努力と技術、そして、それらをまとめ、力を引き出す舞台監督の役割が大切なのだと思います。

さて、全く関係のない話です。

先日、友人の結婚祝賀会にプロのギター奏者が演奏に来てくれると言ったので、某ホテルに音響のお手伝いにておきました。

ホンのお手伝いのつもりだったので、持っていた器材も、マイクとリバーブ程度で、スピーカーなどはホテルの物をお借りしました。ところが、リハール前にチェックをしてみると8本あるスピーカーの内3本が鳴っていません。

すったもんだして無理矢理ならしてみるとすぐ歪んだ音がでます。そこで、すでにスピーカーが壊れていて、音が出ないようになっているのでした。

スピーカーを運ぶ手間を省いたがために、結局準備が思うようにはかどらず、苦労してしまいました。なかなかうまくいかん（Ｙ・Ｔ）

LOVE & PEACE セタフェスティバル

1日目：2002年7月6日 午後7時開演

太田真季・中川幸範ジョイントコンサート

アンサンブルケナで全国の聴衆を魅了した声楽家・太田真季と、関西を中心に活躍し、近年は障害者とともに歌う取り組みでも名高い声楽家・中川幸範のジョイントコンサート。

百万本のバラ・オオソレミオ・荒城の月・メモリー・うぐいす・OVER THE RAINBOW など、おなじみの曲を経験豊富な2人がどのように料理するのか、お楽しみ下さい。

2日目：2002年7月7日 午後2時開演

第1部：ALMAコンサート

第2部：映画「with…」上映

第1部は視覚障害者4名でつくるバンド「ALMA」のコンサート。映画「with…」の主題歌を歌う彼らの実力は「横浜ハイスクール・ホットウェーブフェスティバル」でのグランプリ獲得で実証済み。和製スティービーの呼び名も高い。

第2部の映画「with…」は若き女性美術家の生涯を追ったドキュメント映画。短い生涯を精一杯生き抜いた佐野由美さんの生き様が胸を打ちます。

前売り券 7月6日券＝大人2500円／小中高生・障害者1500円
7月7日券＝大人1800円／小中高生・障害者1000円
2日間通し券＝大人3900円／小中校生・障害者2200円

